令和6年度第2回丸亀市地域公共交通活性化協議会（書面会議）会議録

日 時	令和7年1月10日（金）
出席者 （回答者）	伊藤秀俊、松江康司、池内丈史、上野博史、山下周市、天野雄二郎、上野智弘、岡内直矢、馬場久美子、平井明、大久保剛貴、合田十三夫、森口寛司、高畑美嗣、新名恵、岩崎晶典、藤田秀光、増田美樹、大西裕子、宮崎耕輔、片庭浩輔、十川裕史、眞鍋雅彦、秋山ともえ、建石裕実
議 題	① 令和5年度バリアフリー化設備等整備事業 事業評価について ② 令和6年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金 事業評価について

発 言 要 旨

委員 25 名より 25 名より回答あり

【①令和5年度バリアフリー化設備等整備事業 事業評価について】

意見あり 0名、意見なし 25名

【②令和6年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金 事業評価について】

意見あり 1名、意見なし 24名

（宮崎委員）

1. 資料 P1-③前回の事業評価結果の反映状況

〈前回の評価結果の概要〉にバリアフリーに配慮した車両の導入について検討するとの記載がありますが、〈評価結果の反映状況〉にそれについての記載がありません。検討できなかったのであればその旨を、可能であればできなかった理由も記載しておいてください。

→（事務局）現在使用している車両はステップがあるものなので陸地部で使用しているノンステップバスの買換え時に本島コミュニティバスで再利用できないかを検討しましたが、現在のルートや車庫ではサイズの関係で対応不可でした。その旨追記しました。

2. 資料 P1-⑤目標・効果達成状況

単に数値のみの表記ではなく、考察なども記載した方が良いです。また、収支率だけでなく経費、収入の当該年度と前年の数値を併記することで考察しやすくなると思います。

→（事務局）利用者数については瀬戸内国際芸術祭が開催された R5 より減少しましたが、運賃無料キャンペーンの実施により目標利用者数は達成できました。その旨と経費、収入の額を合わせて追記しました。今年度は、令和3年8月の台風で被災した「小坂」バス停の待合所の改修工事を行ったため経費が例年より増額しております。

3. 資料 P1-⑥事業の今後の改善点

バリアフリーに配慮した車両の導入について今年度バリアフリー車両の導入に至らなかった理由を踏まえた上で、どのようなことを踏まえれば導入に至るかといったことを明記した方が良いと思います。

ます。また、ホームページや GTFS データを活用した情報発信で来訪者の利用促進を図ることは今年度も行っていたのでしょうか。そうであれば引き続き取り組むという記述を追加するとともにどのような点に配慮して取り組もうかといったことなどの記述があると良いと思います。一方で、来訪者の利用を増やすのであれば、船の利用者数との比較等まで記載できると良いかもしれません。例えば船の利用者数が対前年比でどの程度増加しているかということとバスの利用者数の増加が同程度なのか、異なるのかによって対応が異なるように思われます。交通手段間の連携にも触れておいた方が今後達成可能な内容か否かが判断できると思われます。来年度は瀬戸内国際芸術祭がありますので単なる利用者数の増加のみならず、来訪者を円滑に周遊してもらう工夫などが課題としてあげられるかもしれません。

→（事務局）車両の関しては島民の高齢化も進んでおりますので乗り降りの負担の少ない車両の導入を検討しておりますが、離島振興の功も奏して一度に数名乗車されるときもあれば、20名以上乗車されるときもあるため、ある程度の大きさが必要かと考えております。今後の利用状況の分析や島民との意見交換を重ね、引き続き車両に関して検討してまいります。

情報発信については引き続き取り組む旨追記しました。瀬戸内国際芸術祭の開催に合わせ複数の交通事業者間で使用できる共通乗車券の発行も考えておりますので、それに関する情報も合わせ、乗り継ぎ情報、その他観光に関する情報など来訪者が利用しやすいよう情報提供に努めてまいります。

4. 資料 P2-⑤目標・効果達成状況

単に数値のみの表記ではなく、考察などを記載した方が良いです。

→（事務局）燃料の高騰や物価上昇の影響もありましたが、運賃無料キャンペーンの実施により目標利用者数を達成し収入が増えたことで収支率の改善ができた旨追記しました。

5. 資料 P3-⑤目標・効果達成状況

単に数値のみの表記ではなく、考察などを記載した方が良いです。

→（事務局）燃料の高騰や物価上昇の影響もあったが、運賃無料キャンペーンの実施により目標利用者数を達成し収入が増えたことで収支率の改善ができた旨追記しました。